

屋良朝苗日誌

1 屋良朝苗日誌について

屋良朝苗日誌（以下「日誌」という。）とは、米国統治時代の琉球政府で初の公選主席、本土復帰後の沖縄県で初代の沖縄県知事を務めた屋良朝苗氏が、一九五三年（昭和二八）一月から一九八五年（昭和六〇）一〇月までの三十年余りにわたって書きつづった一二五冊の日誌とメモ帖類である。

日誌の原本は屋良氏の遺族により読谷村に寄贈され、沖縄県公文書館は原本から複製を作成して所蔵している。

2 日誌の公開及び翻刻の利用について

(ア) 日誌の公開について

沖縄県公文書館では、手書きの文章を読みやすくするために、テキストデータ化する翻刻作業を進めている。本稿はその成果の一部である。

日誌は、沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例第十一条の規定により、個人の秘密の保持その他合理的な理由により利用に供することが適当でないと判断される情報については黒塗り処理を行っている。

(イ) 翻刻の利用について

日誌の一部を出版物等に掲載しようとする者は、沖縄県公文書館管理規則第九条（出版物等への掲載）の規定により、あらかじめ「出版物等掲載許可申請書」を沖縄県公文書館指定管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

翻刻に誤りが見つかった場合には、都度、改訂するものとする。その際には改訂箇所及び改訂日が分かるようにする。

3 凡例

(ア) 文体・語句・送り仮名について

- 語句は基本的に原文のとおりに表示した。
- 誤りと思われる語句は後ろに「ママ」と付した。

● 当て字は原則原文のとおり表記したが、分かりにくい場合には、「」で正しい漢字を補足した。

(例) 渡屋「都屋」

● 判読できない文字は、文字ごとに■で表記した。何文字かが不明な場合は、■●■「■●■?」のように表記した。

● 語句を補足したほうが意味が分かりやすい場合には、「」で補足した。

(例) 「昭和」四三年

● 送り仮名は、意味が通る場合には訂正せずに原文のとおり表記した。

● 脱字がある場合には、「」で補足した。

(イ) 句読点について

● 句読点は原文のとおり表記した。

(ウ) 漢字の表記について

● 旧漢字は原文のとおり表記した。

● 略漢字は正しい漢字に直した。

(エ) 書き損じ・見せ消しについて

● 屋良氏により書き損じが訂正されている場合には、訂正後の語句を表記した。

● 屋良氏による見せ消しは、原文のとおりとした。

(オ) 改頁・改行・スペースについて

● 原本において日記の文章が次頁まで続いている場合は、翻刻においては改頁せずに続けた。

● 翻刻における改行は基本的に段落の前後のみとし、日誌原本にある改行とは必ずしも一致させなかった。

● 屋良氏自身が空けた文中のスペースはそのままとした。
段落の初めは一字空けた。

二〇一九年三月三十一日
翻刻・編集…沖縄県公文書館指定管理者(公財) 沖縄県文化振興会

〔昭和〕四三年選挙中

夜もおそくまでかかり遠迎「送迎？」に車もなくて帰る人々には御気の毒である 西表の西部 東部を一見して 何故今まで未開発のままになつているのか分らない

夜はお隣りの内の御室屋に夫婦泊めてもらう。

八月四日(日)晴

午前中宿に休み、午后出発

平川先生、長浜先生は八重山へ帰る。森田、前新先生、前津、宮里青年部長等一緒して小浜島へ。出帆一時間位して小浜島につく 道路悪いしかし来て見てよい勉強になった。旅館に行く前にさる民家で一休み、トラックで旅館へ。一休み、入浴 夕食後励す会場に行く、それまでに三、四人挨拶に見えた有志もあった 小浜は今まで野党のは入れなかったそうだが一五〇名以上も集つての大会でこれも成功、十一時で消燈され後は十二時過ぎまで大会は続く、ここでも一時間位の話となつた 参加して下さつた皆さん、世話して下さつた皆さんに敬意を表する。訪問者の方から大変めずらしいバナナをいただく 印象深し、宿の御嬢さんは那ハで臨時教員をして居られた方、体育大会でバレーの選手になつたららしい

八月五日(月)晴

八時に出発、定期船に乗る。一時間半位で石垣につく 港につく頃 明るい沖繩をつくる歌を合唱し氣勢を

あげる 上陸し、教育会館で話し合い 官平旅館で晝食をとり、二時発のヒ行機へ。

ヒ行場には沢山の見送り人あり、有がたし。増さんに会い得てよかつた 無事帰る

〔中略〕

八月十日(土)晴

美栄で中野先生、親泊氏を迎え、美栄で晝食会 御土産もあげる 外間君、田場君、復帰協事ム局長仲宗根氏参加

三時から中野先生外、一人、組織工学研究所長糸川英夫氏の講演会聞く。仲間知秀氏。立候補決意あいさつに見える。

山里さんから舞踏発表会に招かれていたので見に行く タイムスホール よく分らなかつた。

〔中略〕

八月十二日(月)晴

社会党組織部長伊藤氏来訪、東京の新崎氏来訪 十五周年誌の打ち合せを福地君とする

大東婦人会長と菊池さん、あいさつに見える(胡屋さん、菊池さん)

東京の森田さん、喜友名さん、八汐荘で晝食会 今帰仁の村長選の結果 果晝判明。はじめは松田さんが負けて ショック、同点劇の結果 松田さん逆転勝で喜ぶ

四時頃から喜屋武君 平安君同伴、松田さん宅御祝いに行く

祝辞をのべて七時過ぎ御いとまする、大激戦だった事が八四票の差でも分る。十一月選挙も選挙も油断禁物である。九時までにナハ帰

広島大、教授学生の台湾調査団の歓迎会に顔を出す。後で与那嶺会長と若い幹事の方々と食堂で懇談する。

帰宅して見ると島仲さん、上江洲さん、宮里悦さん、平良良松夫妻来訪ししばらく話し合つて帰る。

八月十三日(火)晴

看護婦さん 注射。血圧一三〇、八八上々、十時から局内、那ハ指導者集つて御指導を受ける、後で個人的にも指導を受け大変参考になった。日教組顧問ベン護士 市岡先生の御指導であつた。その後大阪教組 奄美教組の方々に簡単に挨拶、終つて私室で市岡先生からいろ／＼と御指導を受けた。さらに六時から美栄で夕食をあげつゝ指導を受ける。大変参考になった、私の考えに非常に共鳴され、私の考えに既に哲学がありヒューマニズムに徹していると絶さんの感をもらされていた。幾分ともに私の姿勢について自信をつけて下さつた事は有がたい

澄夫君等も御客さん案内 美栄で夕食をとつた。夜帰つて久々に朝夫妻 婦 澄夫「？」夫婦に御客さん一緒にしばらく話す

八月十四日(水)晴

宮里栄一氏寄付をもつてお出でる。友情、好意感謝にたえない。平安君と

事ム連絡

散髪、一時から原水禁世界大会が琉大体育館であり、出席す。アメリカ黑人参加者のアメリカ非難の励しさ「激しさ」には驚いた人種差別に不満が一杯いの様だ。七時から世界のインタビュール 於、八汐荘、会長室で。話した内容が要を得たものではなかつたかと思ひ心配になる。後で夕食をあげる。

八月十五日(木)晴

九時から八汐荘ホール、国際原水爆禁大会、国際会議ははじめてである。外国代表一斉にアメリカ基地批判、殊にアメリカ黒人のアメリカに対する批判抵抗はきびしい。はじめに私歓迎あいさつする。晝は古波倉正君 正子さんと晝食会あり。

二時半 那ハ教職員活動者の方々、一五〇名位ホールに集合さる、あいさつする。皆に御世話になる。かたじけない

平安病院訪問 あいさつ 従業員の方々にあいさつ。七時から大城龍太郎さん出版祝賀会に出席、八時から原水爆禁大会に出席。メッセージを送る。帰りに平良良松氏寄られる。

八月十六日(金)晴

我妻君来訪、晝食会を八汐荘でもつ、平安君と一緒に。

奄美はじめ大阪教組代表団と少年会館食堂で懇談会

八月十七日(土)晴

羽地明るい沖繩つくる会
二時、退公連総会

八月十八日(日)晴

佐知城「？」明るい沖繩つくる会

八月十九日(月)晴。

上間君死去

嘉手納平安氏 大会 四時出発

一時間町まわりをする 盛会であつた三〇〇〇名位集つていた

八月廿日(火)晴

相馬氏来宅

安里氏 明るい沖繩をつくる会

黒潮会館

上間君急死、火葬に間に合わなかった。人の命のはかなさよ あんなに元気だった君がぼっくり死んでしまった、云うべき言なし、未だ見る様だやはり無理をしたのだろう。

八月廿一日(水)晴

中頭婦人の集い 二時から六時、

大変 盛会だった 一、〇〇〇名位集つた事だろう 有がたいと思う

松田村長当せん祝賀会沖貿ホール、

コザ 比嘉区民励す会あり 有がたい

八月廿二日(木)晴

八時三〇分 八重山へ。

直ちに波照間へ。少し船がゆれたしかし舟でよくねた 波照間は前津君の姉さんの宅に御世話になる 長

浜さん、石川君一緒する

八時半頃から励す会 五〇〇名位集り大変盛会

八重山から国吉さん、豊川さん、宮里さんも 前新会長夫妻も一緒だった。はじめて見る波照間の風物。参考になった

八月廿三日(金)晴時々雨

九時波照間出発 しばらく舟ゆれる しかしねむれなかった

「四？」五時間以上も要して西表の白浜につく、旅館があつた

二、三の方々が挨拶に見えた

八時半頃から小学校で励す会あり、一〇〇名位集つた まあまあという所であつた

「中略」

八月廿六日(月)曇

励す会、活動対策委員会あり 八汐荘で。二時頃まで話し、少年会館で離島職員との懇談会

昭九、女師卒業生 六名慰問あいさつに来る。八時から尚志会集りあり、夏休み請■の尚志会員との夕食会あり。世界のインタービュー送られてきたがまずい 手を加えたがおそくまでかかった 夜はねつき悪し。嘉手納 平安君 大敗し残念至極 知花英夫君も樂觀を許さないとの事、大変である

八月廿七日(火)晴

低気圧 大東行き延期する

世界インタービュー内容が拙く
昨夜はねむれなかつたので元気なし

八月廿八日(水)晴

今日はヒ行機が出るというので午
前中は出勤し 午後 帰宅準備し、三
時に正子さんをさそい夫婦ヒ行場に
行ったが また延期がっかり 内へ
帰って休む 婦人活動者会議があり
婦人部の結成が計画された由 タイ
ムス世論調査発表。

〔中略〕

九月一日(日)曇

朝ねする、晝 アンマ頼む
平敷律子さんより電話あり 公明
党の方々のお迎えの件で。好意ありが
たい 細い所にも気を配ってもらっ
て やはり教え子なればこそである。
幸市さんに電話して聞いたりした
公明党対策勉強する

八時半から浦添 伊祖 都屋 明
るい沖繩をつくる会結成に出席 よ
いお集まりであった 一時間位話し
ておいとまする。十一時過ぎに帰る
新垣太郎さんより電話、時間なく

〔中略〕

九月三日(火)晴

朝、看護婦さん、血圧をはかり注射
してもらう、異常なし
明日公明党書記長一行との懇談が
あるというので公明党の政策等読む、
大浜さんに電話して矢野一行出迎え

の可否を聞いて見た 遠慮してもら
い度いとの事であったので遠慮する
事に決める

九月四日(水)晴

七時から東急で矢野書記長一行と
懇談、当方は平良■■さん 喜屋武君
新垣君四名であった。

基地の態様について聞いたり、ある
いは核基地や自由使用での復帰と二
者択一の時の考え等聞いていた あ
るいは復帰運動、大衆運動についての
考え方、復帰までの経済対策とか復帰
後ビジョンとか一体化政策について
の考え方や基地反対運動対策等につ
いて聞いていた。大した事はなかった。

後で公明党としては私支持したい
が公明■「公明会？」との関係もある
ので一応現地の意見をもち帰って相
談して態度を決めたい。西銘支持はあ
り得ない 中立となっても多数は僕
支持になると確信すると云っていた

九月五日(木)

夕方から城間支部結成に出席しあ
いさつし、引続き 渡具地、ソベ 渡
ヶ次「渡慶次」懇談会、源先生、正子
さん、平安さん、知花英夫氏 村長さ
ん等、渡ヶ次「渡慶次」終る時 十二
時過ぎていた

皆さんに御苦労と御めいわくをか
ける

九月六日(金)、

九月七日(土)晴

辺土名第一区 明るい沖縄つくる会 盛会 六時頃から始り七時半にあいさつ終り儀間部落へ、集り良し。そこを終りコザ市園田の集りにあいさつ、続いて崎浜氏のセン挙区婦人の集いまで行く、おそくなる

九月八日(日)

津堅励す会。海がしけるのではないかと思つたがそれ程でもない、小さいチャーター船で行く、四〇分かかる、三時から開会、集り良し、私の話は最低、文高さん、外政党人二人、はじめて津堅行つて見た、水が大変不自由の様だ。浜比嘉からひく以外にないようだ。

九月九日(月)晴

照屋和広氏レセプションに喜屋武君と二人で出席す。北中城励す会 八時 盛会、終つてから喜屋武君の御宅で夕食を御馳走になる。

九月十日(火)晴

長い懸案であつた大東行き実施す。案内、外間君 仲間君 砂川君同伴 一時間位で大東つく 空港には教職員 全テイ「全通」、その他一般多数出迎えあり、石川校長がやり手で 会の理解者である事上々、中学校の大城教頭、小校 菊池教頭 何れも有力な同志、呉屋婦人会 長も一度会つていたので好都合であつた

食堂である 新垣さんの二階が宿屋 食堂に教職員はじめ有志多数集られ懇談する。

その日は東側の港を見せてもらつたり ■神社を見せてもらつたりした。港のないサンゴ礁で取りまかれて いる島水も少く天水を利用して聞く。

水も利用出来る水があり スクーパーパス等も考えられる、道悪し。官庁

九月十一日(水)晴

晝、呉屋婦人会長の御宅に招待、山羊の御馳走になる あべこべだ 発電あり、自家用車あり、自家用トラック、トラクターありという盛大ぶり 沖縄の農家とは異なる、一人二〇町歩以上も土地があると聞く。

三時から映画館で励す会、二、三〇人集り大変盛大であつた 先ず成功であつた、終つて夜 歓迎懇談会も 官庁訪問する 村役所、農協、診療所 気象台等あつた、ゆっくり懇談出来てありがたかつた。五〇名位集つて居られた。

「中略」

九月十三日(金)晴

午後予定通りヒ行機は出る 見送り人も多し、感謝 感謝、多くの方々に送られて出発、予定通り一時間でナハ着く、無事に而も成功裡に大東の旅 終り。

夕方マワシ大原懇談会あり出席す そこを終つて美里で宮城島出身の

集りあり、出席、三、四〇名の集り終つてコザ市山内部落 崎浜さんの地区、出席、盛大であった。

九月十四日(土)晴

午前中 全軍労 上原委員長と外一人と懇談 参考になった

久場氏尊父告別式

厚生園老人の日訪問 どうも面は

ゆし、高校教組励す会に出席あいさつ、

十区、嘉手納 読谷 明るい会結成

出席勝連の内間、平安名、時局批判出

席、登川励す会 美里婦人の集い、そ

れぞれ出席する。

九月十五日(日)晴

四時 六時 琉球新報記者との懇

談会。普天間 野嵩一区励す会出席す、

終つて十時頃、松川婦人の集い、平良

良松氏宅であり 話す

九月十六日(月)晴

渡名喜行き、チャーター船で四時間

位かかった 海は大変静かであった

のにトラベルミンを飲み下船してか

らねむくて弱った

人の御内に宿す、上陸すると鯉の大

漁だったとか 午前、后、夜と三回に

わたつての大漁だった由、縁起のよい

日に来たと思つた ここには平田校

長(佐敷)、比嘉教頭が居られリード、

盛大な会がもてた 二〇〇名位集つ

たと思う、終つてからしばらく懇談会

先生方、御協力に感謝する

九月十七日(火)晴

粟国に向う、ここも好天に恵まれて
楽だった ここには中村校長が又顔
見知りの方が居て御世話になる

一五〇名位の集りであつたと思う

ここはサン橋もあり迎えの方も沢

山見えていた。宿は村指定の ■清 ■も

■ばあさん一人で経営、御世話にな

る

何でも三〇に夫に死に別れ二人の

男の子を戦死させたと言う 御気の

毒の方 泊つても気持良かった

八時頃から学校で大会 二五〇名

位ここも盛大、帰りには皆さんと握手

して別れる

九月十八日(水)晴

役所、はじめ二、三ヶ所表敬し、出

発す さ程波もあれず四時間位でナ

ハつく。これで粟国 渡名喜終る

夜は読谷 波平と高志保に懇談会

あり、よい集りだった 割合には高志

保が集りが良いと思つた。

九月十九日(木)晴

研究教員壮行会が会館にあり あ

いさつ。

夜は首里、真和志懇談会あり出席す

浦添 城間夫人の集い 集り良し

源先生も行つて下さつた。

九月二十日(金)晴

全税組合励す会がナハ税ム所で開

かる。出席あいさつ、

夜は浦添屋富祖明るい沖繩つくる

会、広場に三、三、五、五で好成绩で

はなかった。

九月二十一日(土)晴

二時から大道婦人集い、婦連会館であった、集り悪し、正子さんも出席後で内に寄らる

夜はハンタ川区懇談会、集りよし引続き 市職労婦人の集いが平良良松氏宅であり、出席し、

源先生 正子さん、徳田さん、宮里悦さん、島仲さん、外間さんという指導者揃いだっただ 私もあいさつをして次に三原懇談会に良松夫人に案内されていく 二、三十名の集りで婦人も多かつた

九月廿二日(日)晴

美東中学二十周年記念式典あり、祝辞依頼で行った

私の祝辞に気がひける所があった式典を終り一応内に帰り晝食をとり、高嶺小中校、八十、二十周年へ行く、ここでも祝辞

開南校で開催の図書館大会に寄つて、祝辞

一応内に帰り平安座励す会に出かける 暴風注意報が出ていて ーんだが 結局 海を渡る

校長先生の新住宅で夕食をとり会場にのぞむ 中村、東門両先生 先頭に立たれて有がたし

集り大変良く 全く盛会だったこれに出席しなければ大変な失敗をする所であった 古堅部落の方はこ

まった。後で活動家の青年等と握手して励し、依頼して帰る、帰りはトラックで帰る 一時頃に内つく

十月廿三日(月)晴

暴風警報で天気かわる 宮古また大暴風におそわれた由、気の毒にたえない

第三区明るい沖繩をつくる会開催の予定であったが中止、それで一日在宅、立候補にあたっての挨拶状をまとめた 彼岸をすます

十月廿四日(火)晴

大浜先生来島さる、迎えに行ったが既に到着 間に合わず 途中で引かえず 東急ホテルに行ったが未着、名刺をおいて帰る 夕方 はからずも先生があいさつに見える 与那国出身励す会、八時盛大で成功だった 糸満創価学会のお集りあり、三〇名程話をよく理かいして下さったと思う

十月廿五日(水)晴

文部大臣来島 迎えに行く 夕方七時から瀬底君結婚式乾パイの音頭、文部大臣レセプションに出席、大浜先生や大臣にまであいさつする。八時にひきあげ前島の有志の集いに出席 十名位にあいさつ、少ししゃべり過ぎたきらいあり。

座喜味区民との懇談会 一〇〇名位集って居り 婦人の方も多かつた、引き続き 宇座の集い、これは有権者全員という熱勢ぶりだった。十一時から十二時までの話であった、長浜さん

正子さんも両方に行つて下さる

九月廿六日(木)晴

八時半から文部大臣会見三〇分間品のある紳士だが冷い感じだ 理事、事ム局長会があつたが出席せず どのかのテレビがインタビューあり 夕方、豊見城区民の集い、⑧糸満潮平 東風平富盛の懇談会出席の事これで今日も日程終る 何れも集りもよく効果的な集りであつたと思う

九月廿七日(金)晴

朝 血圧異常なし、注射してもらう、ナハ区明るい沖繩をつくる会(嵩原) 婦人の集いが婦連会館にあり

集り大変良し、続いて青年学生共斗会議が教育会館であり

これも盛大であつた、朝九時には全税支部大会であいさつ

夜は瀬名波、長浜に集りあり 何れも盛会であつた はじめ長浜に行つたが瀬名波が迎えに来たので瀬名波を先にすまし、長浜を後にする 帰りに川平に寄り一休みして帰る

九月廿八日(土)晴

通産支部大会が八潮荘「八汐荘」であり あいさつ、官公労婦人部大会がホールでありあいさつ。

夜は久米島出身 屋良、仲間励す会がホールであり、出席す。

〔中略〕

九月廿日(月)雨

昨日から少しつかれ気味あり

今帰仁明るい沖繩をつくる会があつたが休む 茂治君が代つて行く 繁多川区の集いあり、出席す 平川さん、正子さん、方出席、ここは嵩原さん、平良さん出席、総評の方も見えていた

十月一日(火)晴

官公労中央委員会が八汐荘であり あいさつ、まちがえて社大党中央委員会でもあいさつする

夜は若狭町婦人の集りに出席す

十月二日(水)晴

夜 宜野湾真喜志「真志喜」の区民の集いあり、出席す

十月三日(木)晴

南恩納励す会が公民館であり、出席す、よい集りであり 総立す「ち？」で応援してくれた 琉大の仲松先生や朝一君も出席していた

次は読谷の牧原、長田 親志の集いが牧原公民館であり、出席す 島仲、長浜さん出席、次は嘉手納婦人の集いこれは映画館で六〇〇名近く集り圧巻、話もよかつた由、そこにも恩納にも正子さん出席、長浜氏も出席

そこを終つて美東の古謝公民館へ行く 十一時になって閉会する所であつたがあいさつする 一〇〇名位か

〔中略〕

十月五日(土) 晴

午前中、Yシャツ注文、帽子買う
日誌の整理

一時、那ハ市職労決起大会、八汐荘、
あいさつ。

官公労、建設支部大会一、三〇、開
南会館出席、コザ北谷婦人総決起大会
二〇三 琉米文化会館
十八区 仲井間懇談会9時(公民館)

十月六日(日) 晴

今日は旧暦八月十五夜である、幸に
今日は日程無く、内で過す事になる。
しかし心ここにあらざれば月見も興
味、楽しむゆとりなり干場でしばらく
月を見た程度であった

十月七日(月) 晴

新報インタービューあり。夕方は渡
ヶ次「渡慶次」再び集りが公民館で
あるとの事、今日は公民館に溢れるば
かり集っていた 話して次は比謝に
行ったがここは公民館も借さなかつ
たとかで野外で集りも少なかった

十月八日(火) 晴

朝日新聞 岸田さんと共済会館会
長室でインタービュー
夕方は読谷郷友会総決起大会あり、
集りは悪かった
具志川青年同志会あり、これはよい
集りであった。役所。

十月九日(水) 晴

社会党成田委員長一行を出迎える

構内 待合室で歓迎式があった あ
いさつする。

午後、八汐荘で大広間で晝食をとり
つゝ儀礼あいさつをかねての懇談会
あり。

六時から琉球新報ホールで演舌会
があった、簡単にあいさつ程度の話を
して屋部の支部結成会に行く、名ゴ教
育会館であった、これが本島における
最後の励す会の結成であったが世話
人は苦勞したであろう 集りもよか
った、また名ゴまで出かけてのの事で
あったので一段その心を高く評価し
たい。

十月十日(木) 晴

全通労大会、黒汐会館であった 三
時頃あいさつ 島尻婦人の集い、教育
会館において。はじめにあいさつして
次は南風原で知念地区婦人の集り
が役所ホールであった あいさつす
る。次は北谷村演舌会あり、ここにも
かけつけて話す 成田委員長を迎え
ての演舌会であった。

十月十一日(金) 晴

主なる 行事としては、沖縄テレビ
で毎日放送テレビ対談があった 三時
から。成田委員長一行帰京さる。宮古
出身者の集いが八汐荘ホールであつ
た、はじめに あいさつし、次はゴヤ
ホールで全軍労婦人の集いあり、多く
は集っていないかった あいさつし、次
はコザ区民の集いがあり、これはよく
集り私もよく熱をおびた話が出来た
と思つた

十月十二日(土)晴

全軍労定期大会 一〇時黒汐会館
であった あいさつする
四時から三原で懇談会があった、一
寸あいさつする。

読賣竹下支局長との会見 三々 八
汐荘、

首里婦人総決起大会、宜野湾総決起
大会、浦添、北中城大会あり、夜おそ
し
十月十七日(木)晴

十月十三日(日)晴

社大党大会 那ハ劇場あいさつす
る、兼城村武富区の励す会 全、波平
励す会、全 座波励す会 同兼城班婦
人部懇談会あり 何れも行ってあい
さつする。つづいて十八区の識名区懇
談会あり。ここで嘉数先生のお嬢さん
にあいさつを受ける。

十月十八日(金)晴

ニウス「ニュース」、ウイークリー
記者会見 一〇〇 自治労委員長会
十一 港湾労定期大会、二、三〇、官
公労 琉大支部大会
NHK TV 録画
明るい沖繩をつくる 総決起大会
六時、八万人位集る きわめて 盛会、
社会党書記長等来県 あいさつあり。

十月十四日(月)晴

出版祝賀会 盛会であった 身に
余る催しで恐縮した
十七区婦人部結成大会、十八地区会
館で。十八区国場班懇談会 九、三〇
上間婦人の集い 一〇、三〇分 公民
館

十月十九日(土)晴

県労連定期大会がオリオン会館に
あった あいさつする。首里地区労働
者総決起大会が大中町、映画館であつ
た あまり集りはよくなかった 与
那原当添 板良敷 大里 島袋励す
会 コザ青学励す会 具志川農民決
起大会あり
ここは風強く、外であったので の
どに来た

十月十五日(火)晴

官公労大会あり あいさつする
首里 玉ナハさん告別式 家内と二
人で行く 中部 宮古出身者励す会、
夫婦で出かける

十月廿日(日)晴

いよいよ明日告示 終日家に居て
立合演舌会の原稿検討 市岡先生
中野先生 嶺井君 朝夫君四名で
ねってくれた
準備万端ととのった

十月十六日(水)晴

田中寿美子さん、美栄で晝食会、正
子さん、家内一緒する

十七区明るい沖繩をつくる青年の
集い、婦連会館、二二区総決起大会
新報ホール 成田さん ■■■■

十月廿一日(月)曇

二月以来の苦悩の連続の段を受けていよいよ告示 晴れて 決戦の火ぶたは切つて落された 八、三〇分に立候補届出

八時半までに 那ハ高校前の宮里さん宅に到着、私、家内、朝夫等、正子さん、喜屋武、新垣君側近多数、ダルマ右目に目玉を入れる、九時前に宣伝車で第一声

私、社会党江田書記長、安里委員長等

R、B、C立合演舌会 九、三五分 こちらは応援ベン士に安里さん 抽せんの結果 何れも向うが一陣 先ず星さん、安里さん、西銘氏 私の順序「順序」であった 拍手は圧倒的に私側に多く 幸先よろし 晝食を終り国際通り主要道路をまわる オーブンカーに乗ったが雨が降ってぬれる 前日からノド風邪気味で声04 1がしわがれ勝「がち」であったが雨にぬれて、容態は若干悪くなったように思った。

二、三〇分から琉球新報ホールで立合演舌会 これも応援に安里、喜屋武君 向うは星、桑江さん、ここではいよいよ順序も何れも向うが先 ここは後にまわってタイムスの時と同じそして聴衆から受ける反応から見ても圧倒的であった 立合演舌会で大勢は決った様な感じさえ人々に与えたようだ 質問事項に対しても ここは答えに窮する質問ばかりで苦にはならなかった

黒いきりの重箱のシミホジクリ論

での西銘君の説明は悪い印象を与えた様だ。

夕方は引き続き嘉手納演舌会にのぞむ。引続き読谷演舌会に向った。何れも盛会であった

第一日からたん／＼たる気持でせん挙選に突入する事が出来た

十月廿二日(火)晴、風あり

オーブンカーで街頭あいさつ

小緑、南部、中部、南部を一周し街頭の中心を一周する 与勝方面は残した

十七区、十八区立合演舌会 七、三〇大道小学校であった 集りは 余りよくはなかった

十月廿三日(水)曇

街頭あいさつ

那ハ―浦添―嘉手納、―読谷―

恩納、―許田、―宜ノ座、―金武

石川―美里―コザ―普天間―大謝名。

ラジオ沖縄 婦人学級 録音七、三

〇 十九区演舌会 八、

十月廿四日(木)曇

宮古、八重山行きを予定されていたが風邪気味の為に中止

一日在宅 ひそかに休養、これがせん挙中 長い期間の一度の傷だった

十月廿五日(金)

那ハ市内街頭演舌 一一一区 一七

区 一八区 一六区 一九区。

十月廿六日(土)晴

街頭遊説、

読谷、名護、羽地

演舌会、屋我地、(8) 愛楽園(5) 羽

地(7) 名護一〇時

何れも盛会であった 特に羽地

名護は盛大であった

双葉荘に泊る 家内や源さん 上

江洲さん 葉子さん、正子さんも来た

十月廿七日(日)晴

家内は朝、早く那ハに帰って行く、可愛想になった

内気の者が人前に引ぱり出されていくのを見ると気の毒で仕様がな

十月廿八日(月)晴

北部遊説、名ゴ、本部、伊江島 瀬底、本部)

本部演舌会、思ったよりよく集った 屋部演舌会の時頃からだったがこ

も思ったより集って居った。

〔中略〕

十月卅日(水)晴 中部遊説 ナハ、西原、中城、北中

城、コザ 美里)いたる所で街頭演舌、横浜アスカタ市長と一緒にする

演舌会 美里、北中城 中城 西原

十月卅一日(木)晴 八重山、宮古遊説へ

石垣ではヒ行場で沢山の御迎えを受け直ちに八重山一周する、一、二迎

れなかった 読谷出身の居る部落も 余り会えなかった

演舌会 旧大浜町公民館と石垣市で。前者は八〇〇名位、後者は三〇〇名位集った 盛大であった。

十一月一日(金)晴

朝、石垣市をまわり、ヒ行場へ。 宮古ヒ行場では三〇〇人位の歓迎人、あいさつをしたが声がしわがれて いた。宮古島平良市をはじめ あちこちデモし表敬 顔見せし、池間島に渡る。

一ヶ所で演舌 声はなはだ不調 ■で「再び？」宮古に降り下地、上野、城辺遊説 暗くなる

演舌会、城辺、一〇〇〇、平良市三〇〇〇名位

十一月二日(土)晴

七時出帆 伊良部へ 各字をまわり、遊説、宮古に晝までに戻り晝食、直ちにナハへ。四時から南部遊説

糸満 喜屋武 米須 眞壁 大変な盛り上りを見せた

糸満、喜屋武、米須等大したものだ った。眞壁で夕食 演舌会 三和、高嶺(ここは少なかった) 糸満(ここ

は盛大であった)、小禄、ここも沢山 集っていた

とにかく今日の日程は宮古から南 部にかけて大変だった

十一月三日(日)晴

浦添立合い演舌会。声がかれ而も風 強く 成績悪し

先島からの疲れも出た。

那ハ街頭遊説 十八区、十九区、二六区演舌会 具志頭 七、三〇 玉城二〇、三〇 知念二一、五五 佐敷二二、五三何れもまあまあと云ってよい

十一月四日(月)晴

那ハ市内街頭演舌 一六区、二一区 二二区 一八区、二七区

演舌会 東風平 七、三〇 南風原二〇、二八、大里 二一、二〇 与那原 二二、一五 何れも集りは大変良かった

十一月五日(火)晴

北部遊説 六区、金武、宜ノ座 久志 演舌会 久志 七、三〇 宜野座八、三〇 金武 九、三〇 相手のガ城としてはよく集った方である 野次も余りとばなかった 家内、正子さん同伴、何れの遊説もついてくれた

十一月六日(水)晴

中、北部 街頭遊説 六区、七区、八区、九区

演舌会 与勝(雨だった、美濃部知事と電話の話し合いメッセーじがあったが余りよく聞き取れなかった 雨の中であつたし聴衆に聞える様な設備の手配も出来なかった。具志川、学生青年決起大会で役所ホール内で上等だった 一パイ集っていた 石川 二一、五、映画館であつた 一ぱいだった 南恩納 公民館で集り良かった 正子さんも話してまわつてもらった。

十一月七日(木)晴

中部街頭遊説 二〇区 十四区 一二区 六区、(二区、一二区) 演舌会 コザ、北谷、八時、一一区 (コザ) 二一時

十一月八日(金)晴

街頭遊説 (二〇区、一七区、一五区 二一区) タイムス ティーチン、私と中今さん 名ゴの宮城さん、外一人 向うは久手堅、外男一人 女二人 成績は香ばしくなかった 今日私方の負けだと思う、しかし大勢には影響はない

演舌会 二一七区、久茂地校 雨の中だったが一万人以上集っていた青島さんが家内と一緒に来場した事にもよろう、とにかく雨の泥の中によくも集ったものだ

次に一九区、古堅さんの区 真和志小、これも三、〇〇〇人位の集りで盛大であった

十一月九日(土)晴

中部 那ハ街頭遊説、成田社会党委員長と一緒する 物すごい迫力で機微にふれ大声で呼びかけて下さった 驚いた 那ハー浦添ー宜野湾ー嘉手納ー知花ー栄野比ー石川ーあげなー具志川ー赤道ー普天間ー鳥堀ー首里一円ー大越前ー丸国デパート前

十一月十日(日)晴

投票日

朝九時に投票に夫婦そろって行く、今日は少しは楽になって休む事にした

明日の事は分らないけれども。

即日開票の所は離島では負けていた。しかし南風原だけで大体補っていた大した感じは湧かなかった

十一月十一日(月)晴

開票 九時頃には会館に行く

ホールで皆開票に吸いつけられていた、はじめから少しの差ではあったが私の方に歩があった

外の親しい人の開票の結果を見るより楽であった

当選の時の第一声は朝夫、嶺井君等の手で準備されていた

十二時頃になると当確の連絡あり、しかし未だ三〇万票しか開票されず十五万票 残っているので楽観は出来ないと考えた

しかし報道人の強腰に押されてホールのステージに上つて人の波をかきわけ第一声を放つ、マイクを沢山つきつけられて眼鏡もあたってひびが入った、二万票足らずの票差の時である。大変の感激の渦である

私は然程興奮はしなかったと思う今日 開票途中 琉球新報ホールで池宮社長との対談もあった第一声後記者の質問に答える、それから皆にしわくちやにされ 報道界に引張りまわされて大変であった 琉球新報やタイムス、それに本土各社、NHK等から電話、美濃部先生からの電話 神山先生 高嶺芳子さんからの電話

大変な騒ぎである。その為にあいさつまわりも出来ず 家内が代つて那ハ、中部まではまわつたらしい

私は夜の十一時半まで報道陣に引張りまわされた。しかし然程つかれもせず第一夜は終る

沖繩の歴史に大きなエポックを印した結果であり其の一日であった私を媒介する事によって 私を活用する事によって沖繩の歴史づくりの一頁がかざれたという事になるか。それを考えると感無量

殺到する権力金力に完全に打ちかつた日である。やはりこの様な生き方が私の宿命なのか 使命なのか。

戦前戦後の私の歩みは期せずして今日の立場に押し進められていたのではないか。世界の太田氏の論説には過去の私の比類のないリーダーシップをたたえている

その様な指導性があつたかどうかは私には分らない 只真面目に過ごしてきただけと思うが

やはり運命というのを感じ感無量である 地下の父母や祖先■や亡き子等はいかに見て居られるか すき好んでえらんだ道ではないだけに当選したと云つても側で喜んで居られる方々程にその雰囲気にはひたれない。

十一月十二日(火)晴

ラジオ沖繩 婦人学級。

川崎氏との対談 会長室に於て。

本土の数マスコミからの電話インタビュー等ひんばん

十一月廿日(水)晴

米陸軍次官に琉銀ホールで会う
愛楽園三十周年式典に出席、祝辞をの
べ入園者にも代表の方々に御礼のあ
いさつをする。家内、平安君一緒する

十一月廿一日(木)晴

松岡さん送別レセプション
高等ベトナム官招宴、当せんはじめて
のレセプション どうも勝手が違う

十一月廿二日(金)晴

ホール 定例慰霊祭あり
私としては最後の祭主としての慰
霊祭
励す会の祝賀会 料亭ナハ、六時そ
の前に四時から男女同期生の祝賀会
よく集って居た

励す会では嘉数カメさんに引ぱり
出されて舞わされる所だった

十一月廿三日(土)晴

読谷祝賀会、大変盛大であった、そ
れから石川 これも盛大、美里も盛大
各地をまわり最後に北谷に行った
夜もおそくなり ここは少しまとま
りのない様な祝賀会でごみっぽかつ
た

十一月廿四日(日)晴

普天間祝賀会が学校グラウンドに
あり、出席す 安井代議士 五時に御
目にかかる この人は社会党の沖縄
対策責任者 教職会長室で会い 上
京の際の私の希望について御話し合

いしておく、上京の節は私の自主的行
動に委せてもらいたいと希望をのべ
ておく

安里さんの祝賀会 くろしお会館
であり、そこに出席の後、高校組合の
教友研修 満■宗像先生の歓迎会が
平和会館でありしばらく出席

十一月廿五日(日)晴

主席 新議員 初顔合はせのパ
ーティーが教育会館であった 落せん
方も大分見えた 教職員関係の方は
全部落ちた「の」にはがっかりした、
久米町、亘保 為階さん方、市長選懇
談会あり、出席あいさつする 後で正
子さんもそこに出席された由、農林関
係者、仲田氏はじめ数氏との話し合い
十時 会長室。
亀甲、仲吉、糸洲氏と共済会館で話
し合い 現職者からバツテキ出来る
人のリストについて聞く

十一月廿六日(火)晴

洋服の仮ぬい、人事打合せ会市民総
決起大会が神原小であった 十分間
演舌す 丁度今日 平良某なる者の
市長立候補あり 激昂する
今日の大会にこれが問題になった
ので却って結果においては良かった
かも知れない

「中略」

十一月廿八日(木)晴

高校教組 教研 琉新報ホール「琉
球新報ホール」で全体会議あり 祝辞

をのべる

原水爆禁国民会議総ム部長鈴木氏
に共済会館会長室で会う

西の宮市議員会見、農林関係者と話
し合う

十一月廿九日(金)晴

アメリカ上院議員エレンダー氏と
会見、琉銀ホールで。高ベン務官が案
内 十二時~十五分

西日本新聞 記者インタービュー
岸所長と懇談

コザ市 崎浜氏祝賀会 越来祝賀
会に出席す

〔中略〕

十二月一日(日)晴

今日 八時半 松岡氏と事ム引続
ぎ 主席就任す、各局長に辞令交付
直後 県民への就任あいさつ テレ
ビ放送を見る

タイミングは良かった 記念写真
をとる 記者インタービュー

二時 プロ野球始球式
ナハ市長選挙 早目にすまして出
かける 今日からは沖繩の事一切

不肖私が引受ける事になる
思えば感深く、又我乍ら気の毒に思

う、しかし何か運命だとの感がする
来し方を考えて今日のこの日に自分
は刻々と押しやられた気がする と
にかく誠心誠意真心のままに邁進し
よう

当選以来 刑事二、三名に守られ、
住宅の前は夜は不寝番の警官に守ら

れる 住宅の周囲は鉄線を張る 何
と不自由の日が続く事か

十二月二日(月)雨

公せん、屋良主席歓迎の垂れ幕が政
府庁舎に張られ、官公労が警察前
の通路で迎える 面はゆし、警察前
に全局長集合一緒に赴任する 九時
雨の中で広庭で就任あいさつする

各報道機関 あいさつする

平良氏圧勝 何と四万票を引き放
す テレビ座談会

平良氏せん挙事ム所に祝意 平良
氏宅に祝意

十二月三日(火)晴

一〇、二五~二〇分位 米上院議員
才出委員 会見

十一~十二 政府広報課インター
ビュー二時 各局長研究会

夕方 就任披露レセプション、六〇
〇人程見えて盛大 私のあいさつを
終り ところ／＼降だんしてしまつて
失敗

官良君が通訳の時思い出して 再
び登壇する ベンム官のあいさつも
ありその時にジョンソン大統領から
の祝電披露あり これで就任の式は
一応終り またやれ／＼だ

しかし大事な人々に招待もれが多
くて困った。

十二月四日(水)晴

教職員会定期総会 私の立候補の
為六月のが延期になっていた

私の離任式あり、然し会長としての

あいさつもあつた 十七年にわたる
会長としての最後のあいさつであつ
た

喜屋武君 会長選任 副会長は候
補者が儀保君が出て決戦投票で西平
氏が当せん教職員会でははじめての
ケース 後でパーティーあり 感謝状
を受ける。長い間世話になった この
会館ともこの会合にも御別れパーテ
ーであった 私の当せん祝賀会もか
ねていた 来賓も多かった

十二月五日(木)晴

会见者多数 カーペンター民政官
会長 農民代表者会議 国場であり
出席す
共闘会議 祝賀会 開南会館であ
り出席する

十二月六日(金)晴

十一月 局長会議
メッセージ検討 中央公論者「社」
会见、二二区 十九区 祝賀会
兼次さん方 祝賀会あり 出席

十二月七日(土)晴

立法院やつと議長 外役員決る
私のあいさつ受ける事になる 無
事にすます

四時二十分のヒ行機で上京する
茂治君 正子さん案内 大城君一
緒

喜屋武君 福地君は一足先に出発
当せん初の上京

何百人という人々の出迎えあり
沢山の記者諸君に取りまかれもみ苦

茶

澄夫一家も迎えに見えた さとみ
一夫ちゃんに会えて何より

高嶺芳子さんはじめ御夫人も多数。
吉田嗣延氏も見えていた

貴賓室でインタービュー、先ずステ
ートメント発表、その後に質問を受け
快刀斬麻「快刀乱麻」の答べんをなす
この時期を第一歩として私の東京
における活動始る インタービュー
第一声 良い印象を与えた

十日の朝日の天声人語に物すごく
ほめられている 態度堂々、たくまざ
る名優だと評している 先ず第一関
門はパス、後で何処からテレビのイン
タービューあり応ずる

グランドホテルに落つく、澄夫一家
も仲宗根先生と一緒に来訪、いやこの
日は澄夫君は来て居なかった
おりえさんと孫二人は泊って行く。

後欠如